

2022年度 西日本記録会（博多の森） 競技注意事項

1. 大会は、2022年度日本陸上競技連盟規則により行う。
また、新型コロナウイルス感染症予防の観点により、日本陸連の陸上競技活動再開のガイダンス及び福岡陸協の競技会開催にあたっての新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインを基に競技会を運営する。

2. 招集について

	招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	競技開始 30分前	競技開始 15分前
フィールド競技	競技開始 60分前	競技開始 40分前

① 招集所は、本競技場正面玄関横に設ける。

② リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。

3. スパイクは平行ピンとする。長さは9mm以下とし、走高跳・ジャベリックスローは12mm以下とする。

4. 跳躍競技のバーの上げ方について

中学男子	練習 1m35・1m60	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以降3cm～
中学女子	練習 1m20・1m45	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以降3cm～		
一高男子	練習 1m60・1m85	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	以降3cm～		
一高女子	練習 1m35・1m50	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	以降3cm～		

※棒高跳については、競技開始前に競技者の練習の状況を見て、審判長が決定する。

※気象状況等により変更することもある。

5. 三段跳の踏切板は砂場から次のように設置する。

一般・高校男子：11m ※選手の能力によっては13mを追加し、選択するものとする。 一般・高校女子：9m

6. 投てき競技者で滑り止めを使用する選手は各自準備すること。

7. 道具の共用による感染リスクを下げるために、投てき種目の道具は各自で持参することが望ましい。

8. 投てき種目出場者は、事前練習も含め審判員の指示に従い、事故のないよう留意すること。

9. 競技の運営上、走幅跳、砲丸投の計測ラインは下記の通りとする。

走幅跳 中学男子 4m50 中学女子 3m50 高校男子 5m00 高校女子 4m00

砲丸投 中学男子 6m00 中学女子 6m00

10. 長距離種目については、競技の進行上、スタート後の制限時間を経過した場合はレースを打ち切るため、競技役員の指示に従って競技を中止すること。

中学男子3000m・一般高校女子3000m → 13分

一般男子5000m → 17分

高校男子5000m → 18分

11. 棄権をする選手は、必ず棄権届けを提出すること。

12. 競技会中に発生した負傷及び疾病については、主催者において応急処置は行うが、以後の責任は負わない。

13. [個人情報の取り扱いについて]

福岡陸協で定める個人情報に関する規定を了承し、出場するものとする。また、撮影に関する規定に従って、競技を運営する。

14. その他

- ・競技会参加者は、体調管理チェック表（大会前）を受付時に提出し、体調に問題がないことを伝えて競技会に参加すること。中学生・高校生の参加者（選手・補助員）は福岡陸協の大会参加同意書と体調管理チェック表（大会前）の両方を引率者がまとめて提出すること。

- ・競技場内各室は競技役員、本部役員以外の立ち入りは禁止とする。

- ・観客の有無については感染状況等を考慮して検討する。大会前日までに福岡陸協HPにて連絡する。

なお、無観客の場合はチームの監督、コーチにはスタンドへの入場を許可する証明書を発行するため、選手受付で申し出ること。証明書は必ず首にかけ、帰る際に受付に返却すること。

- ・応援は拍手のみとし、声を出すことは禁止する。フィールド種目の応援についても、選手の掛け声に合わせて応援者が声を出すことは禁止とする。

- ・選手の競技場所への入退場は、第1ゲート・第4ゲートからとする。トラック競技ではゴール後、速やかに第1ゲートシャッター外側へ退場し、ゴールエリアでの休息等を禁止する。

- ・ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話（スマートフォン）もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない。（TR6.3.2）